

社会復帰のみが更生ではない。

歩けないものが歩き、箒を持たなかつた者が箒を持ち、
フォークを持たなかつた者がフォークを持つことが更生である。
自主自由とはかかることを意味しなければならぬ。

田代馨「不自由者の自主性ということ」

生活のデザイン

ハンセン病療養所における

自助具、義肢、補装具とその使い手たち



2022年3月12日(土)～8月31日(水)

国立ハンセン病資料館

企画展示室

入場・観覧無料

●開館時間：9:30-16:30(入館は16:00まで) ●休館日：月曜、および「国民の祝日」の翌日(月曜が祝日の場合は開館)

都合により会期の変更、入場制限または予約制の導入を行うことがあります。ご来館の際は公式サイトで最新情報をご確認ください。

協力：国立療養所多磨全生園 ほか

テキスト出典：田代馨「不自由者の自主性ということ」『多磨』第41巻第11号、1960年11月

ハンセン病療養所の患者、回復者は、末梢神経障害による生活動作の不自由がありながらも、その人らしく暮らすために、さまざまな道具を活用してきました。例えば食事などの日常生活上の動作を助ける自助具、自分で歩くための義足、手足を保護しながら必要な動作を可能にするための補装具などです。

かつてはハンセン病隔離政策のもと、療養所の予算は十分でなく、多くの労働が患者によって担われていました。古くから伝わるブリキの義足や取っ手のついた鉋などは、知覚神経や運動神経の麻痺をかかえながら、患者作業や日常生活における仕事を担ってきた入所者の苦難の歴史を伝えています。1950年代後半以降、専門の職員が着任してからは、知覚を失い、思うように動かせなくなった手足を保護しつつ、使い手が叶えたい生活を実現するにはどうしたらよいかを追求されてきました。さまざまな素材の義足やカラフルな自助具つきスプーン、陶芸や音楽活動などの生きがいづくりにかかわる自助具など、使い手の願いの広がりに合わせて、道具の個性が研ぎ澄まされてきたのです。こうして、一人ひとりの生活のデザインと呼ぶにふさわしい道具が多数作られ、使い手の暮らしを形作ってきたのです。

それらの道具を使う人の姿からは、限られた場での生活であっても、身の回りの小さな自由までは奪われまいとする意志がうかがうことができます。

本展ではその姿を、自助具、義肢、補装具の数々など、その使い手の映像や写真、語りなどを通してお伝えします。

ハンセン病問題への理解を深めると共に、障害のある人々が自らの可能性を追求してきた歩みへの関心を高めていただければ幸いです。



イベント情報

- 詳細は本展公式サイト(下記QRコードよりアクセスできます)をご確認ください。
- いずれも新型コロナウイルス感染拡大防止のため内容等を変更する場合があります。

講演会 「生活のデザインができるまで — 願いをかたちにする人びと —」 **オンライン**

国立療養所多磨全生園の義肢装具士をお招きし、義足や装具の作り手としての体験談や思いを伺います。

●日時・講師
2022年7月31日(日) [13:30~15:00]
菅野大洋さん(多磨全生園義肢装具士)
2022年8月6日(土) [13:30~15:00]
後藤直生さん(多磨全生園義肢装具士)

●申込開始:2022年7月1日(金)
●協力:国立療養所多磨全生園 ●参加無料

トークセッション 「生活のデザイン」をめぐって **オンライン**

展示制作の過程で印象に残った様々なエピソードを、担当学芸員が対談形式でお伝えします。

吉岡元学芸員 西浦直子学芸員

●日時:2022年6月17日(金) [19:00~20:30]
●定員:先着100名 ●事前申込み制
●申込開始:2022年5月1日(日)
●参加無料

ワークショップ 「ブリキの義足」を作ってみよう **対面**

かつて患者さんが発明し、製作・使用してきたブリキの義足。身近な材料で実際に作ってみることで、道具に込められた工夫への理解を深めます。

●日時:2022年7月30日(土)・8月14日(日) [各回 10:00~11:30]
●会場:当館1階 ロビー ●講師:担当学芸員 ●対象:小学生以上 ●参加無料
●定員:各回先着5組まで(1組あたり3名まで) ●申込開始:2022年7月1日(金)

カッターを使用する作業です。小学生の方は保護者同伴でお願いします。

大正時代に作成された図面(一部)

ギャラリートーク **対面** **オンライン**

ひとつひとつの道具の背景にふれながら、担当学芸員が展示をご案内します。

■対面での開催
●日時:2022年3月30日(水)・4月23日(土)・5月1日(日)・5月3日(火)・5月5日(木)・6月4日(土)・7月23日(土)・8月28日(日) [各回 13:00~13:45]
●会場:当館2階 企画展示室 ●定員:各回当日先着10名
●事前申込み不要 ●参加無料

■オンラインでの開催
●日時:2022年5月28日(土)・6月12日(日)・8月31日(水) [各回 13:00~13:45]
●定員:各回先着50名 ●事前申込み制
●申込開始:2022年5月1日(日)
●参加無料

表面資料について



交通のご案内

- 西武池袋線「清瀬駅」より(所要時間 約10分)
南口発 西武バス:久米川駅北口行き 「ハンセン病資料館」下車すぐ
- 西武新宿線「久米川駅」より(所要時間 約20分)
北口発 西武バス:清瀬駅南口行き 「ハンセン病資料館」下車すぐ
- JR武蔵野線「新秋津駅」、または西武池袋線「秋津駅」より 徒歩(所要時間 約20分)

● 駐車場あり(台数が限られています。なるべく公共交通機関をご利用ください)

